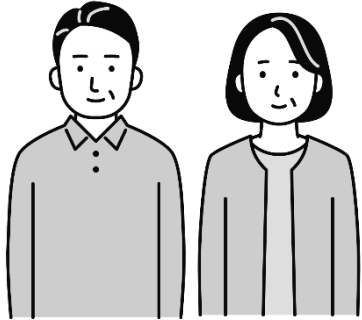


予防するためのワクチンがあります。

50歳を
過ぎたら気をつけたい。

带状疱疹

たいじょうほうしん



令和6年度から带状疱疹ワクチン接種費用の一部を助成します。

带状疱疹は、多くの方が子どもの時に感染する水ぼうそうのウイルスが原因で起こります。このウイルスは、治った後も神経節に潜んでいるため、ストレスや過労、病気、加齢など免疫力が低下した際に、再び活性化して带状疱疹を発症します。発症すると、体の片側の一部にピリピリとした痛みが現われ、その部分に赤い発疹が出てきます。

带状疱疹の予防接種は、予防接種法に基づかない任意接種です。効果や副反応などにご理解いただき、かかりつけ医師などにご相談のうえ、接種の判断をしてください。

生ワクチン (ビケン)

不活性化ワクチン (シングリックス)

接種回数	1回	2回 (2回目は2か月後から遅くとも6か月後までに接種)
接種方法	皮下注射	筋肉内注射
費用	8,000～10,000円程度	1回あたり20,000円～25,000円程度
助成金額	4,000円 (1回まで)	1回あたり 10,000円 (2回まで)
助成対象	接種日時時点で、 中津川市に住民登録がある満50歳以上の方	
有効性	50～59歳 : 69.8% 60～69歳 : 64% 70～79歳 : 41% 80歳以上 : 18%	50～59歳 : 96.6% 60～69歳 : 97.4% 70～79歳 : 91.3% 80歳以上 : 91.4%
予防効果	5～7年程度	10年以上
副反応	◆頻度10%以上の副反応 発赤 (44.0%) そろ痒感 (27.4%) 熱感 (18.5%) 腫脹 (17.0%) 疼痛 (14.7%) 硬結 (13.5%) ◆重大な副反応 (いずれも頻度不明) アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、 無菌性髄膜炎	◆頻度10%以上の副反応 疼痛 (78.0%) 筋肉痛 (40.0%) 疲労 (38.9%) 発赤 (38.1%) 頭痛 (32.6%) 腫脹 (25.9%) 悪寒 (23.5%) 発熱 (17.9%) 胃腸症状 (13.0%) ◆重大な副反応 (いずれも頻度不明) ショック、アナフィラキシー

- 带状疱疹ワクチンは2種類あり、接種方法や回数などに違いがあります。
- 助成制度が利用できるのは、生ワクチンまたは不活性化ワクチンのどちらか一方で、生涯に一度限りです。



中津川市 市民福祉部 健康医療課

☎ 0573-66-1111 (内線628・623)



令和6年度 带状疱疹予防接種実施医療機関一覧

(令和6年4月16日現在)

地区	医療機関名	電話番号	生ワクチン	不活化ワクチン
中津	恵那医院	66-1318	○	○
	恵那山のぎつね診療所	62-3001	○	○
	かぜと耳鼻咽喉科	62-3200	○	○
	木村内科	65-8088	○	○
	恵北医院	66-1210	○	○
	小島クリニック	65-0011	○	○
	ささきクリニック	62-3988	○	○
	田口医院	65-2872	○	○
	田口クリニック	65-4133	○	○
	本町整形外科(旧つねだ整形外科)	65-5766	×	○
	中津川市民病院	66-1251	×	○
	中津クリニック	66-3111	○	○
	にしおクリニック	66-7077	○	○
	服部内科クリニック	65-8877	○	○
	林メディカルクリニック	65-2007	×	○
	古橋内科クリニック	66-3915	○	○
	やまだ内科クリニック	62-7707	○	○
苗木	上田医院	66-7222	○	○
	城山病院	66-1334	×	○
坂本	小野医院	68-2039	○	○
	ふなはしファミリークリニック	68-2799	○	○
落合	落合診療所	69-3219	○	○
	中川医院	69-5015	○	○
阿木	国保阿木診療所	63-2900	○	○
坂下	国保坂下診療所	75-3118	○	○
	近藤クリニック	70-1055	○	○
川上	国保川上診療所	74-2400	○	○
加子母	河村医院	79-2033	○	○
付知	回生堂医院	82-2125	○	○
	竹内医院	82-3882	○	○
	みお医院	82-5211	○	○
福岡	今井医院	72-4377	○	○
	丹羽内科・ペインクリニック	72-5777	○	○
	ハナノキ内科クリニック	76-3145	○	○
	深谷医院	72-2009	○	○
蛭川	国保蛭川診療所	0573-45-2201	○	○

※恵那市の指定医療機関でも接種できます。

① ワクチン接種の流れ

- 予診票は各医療機関や市ホームページにあります。
 接種を希望する場合は、以下の手順で受診してください。
- 1.実施医療機関に、確認・予約をします。
 - 2.医療機関で予診票を記入し、接種を受けてください。
 - 3.接種費用から生ワクチンは4,000円、不活化ワクチンは1回あたり10,000円を引いた額を、医療機関窓口でお支払いください。

① 接種にあたってのお願い

- 体調の良いときに接種してください。
- 上記の実施医療機関一覧に記載された医療機関以外で接種した場合は、助成の対象となりませんのでご注意ください。

① 持ち物

- 本人確認書類(マイナンバーカード、免許証など)
- 接種費用(助成金額を除いた自己負担分)



① 接種を受けられない方

- 明らかに発熱(37.5度以上)している。
- 重い急性疾患にかかっている。
- 過去にこのワクチンの成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある。
- (生ワクチンの場合のみ)明らかに妊娠している。
- (生ワクチンの場合のみ)免疫不全状態や治療などにより免疫抑制状態にある。
- その他、医師が予防接種を受けることが不適当と判断した方。